

企業団との統合による新たなメリットの検討について

老朽化した水道施設・管路の耐震化、更新を着実に進め、災害に強い水道をめざします！
～ 企業団と統合した団体を対象に、管路事業への官民連携手法(DB方式)を導入 ～

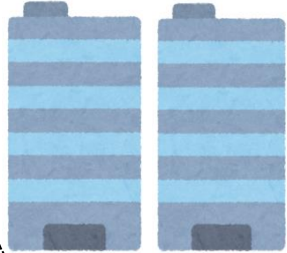
設計・施工一括発注(DB)方式とは

Design Buildの略。構造物の構造形式や主要諸元も含めた設計を施工と一括で発注することにより、民間企業の優れた技術を活用し、設計・施工の品質確保、合理的な設計、効率性を求める方式

導入イメージ

現 状

【企業団水道事業所】

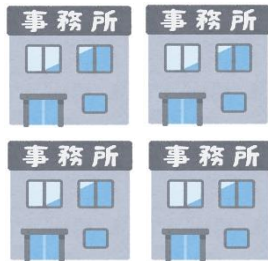


設計委託>工事発注・・・(単年毎)

- ☞大阪北部地震や胆振東部地震など予期せぬ大規模災害が多発

**用水供給事業者の責務として
地震・災害に強い水道をめざし、
施設更新のスピードアップが必要**

【市町村域水道センター】



施設(管路)更新が進んでいない

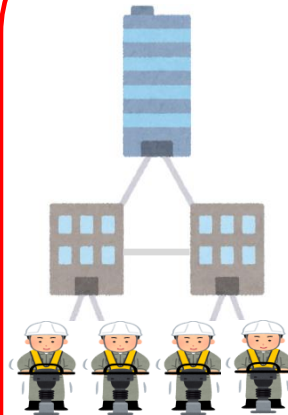
- ☞技術力、マンパワーが不足
- ☞老朽化施設(管路)は今後増大

設計委託>工事発注・・・(単年毎)

**増大する更新需要に適切に対応
することが必要**

DB方式の導入

【特定JV等】



設計～工事を一括発注(複数年)

- ☞用水供給事業と水道事業をセットで発注することによりスケールメリットが働く！

- ☞マンパワー不足が解消できる！

・民間人材の活用により、企業団職員の積算、契約業務を軽減できる。

- ☞老朽施設・管路の着実な耐震化・更新が可能となる！

・設計当初から民間事業者が関与するため、工事発注期間の短縮などが可能となり、工事期間をより多く確保できる。

企業団との統合効果を具体化させつつ、用水供給事業・水道事業ともに災害に強い水道の早期実現が可能！

今後のスケジュール

令和元年度に対象施設(管路)の選定、発注スキームの詳細等について検討の上、

令和2年度中の導入をめざします！

